

平成30年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
78	福島県立相馬高等学校	全日制

I 期選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
普通科	20% 程度	<p>普通科では、将来の幅広い進路選択を可能にするため、広い視野と自ら考える力を育成する教育を行っている。また、1年次から英語・数学・国語の分割授業等により、きめ細かな指導を展開し、確かな基礎学力を身につけさせている。さらに、2年次からは文系・理系の2コースと多様な選択科目を設定し、それぞれの進路希望に応じた学力を養成する授業を実践しており、次のような生徒を求めている。</p> <p>A型：学 業 中学時代に優秀な成績を収め、特別活動にも熱心に取り組んだ者。さらに、本校入学後も強い学習意欲を持ち続け、将来国公立・私立の四年制大学をはじめとする上級学校への進学を目指す者。</p> <p>B型：部活動 中学時代に学習成績が優良で、本校が募集要項で指定する部活動種目において優れた実績と能力を有する者。さらに、本校入学後もその部活動に入部して3年間活動する意志が強固で、学習と部活動を両立させ、リーダーシップを発揮できる者。</p>	本校をどのような理由から志望したのか、本校入学後は何をどのようにやってみたいのか、また、将来についてどのような希望をもっているのかなどについて本人が記入する。	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は32点満点として、合計167点満点とする。	個人面接を実施する。面接の内容は中学校における学習の成果を問う内容（数学、英語）を含む。面接については、点数化する。	小論文を実施する。あるテーマに関する資料をもとにした600字程度の小論文とする。小論文については、点数化する。	
理数科	20% 程度	<p>理数科では、創造性や思考力を高めるための探究活動や研究活動を取り入れた特色ある教育を行っている。また、1年次から英語・数学・国語の分割授業等により、きめ細かな指導を展開し、確かな学力と応用力を身につけさせている。さらに、2年次からは文系・理系の選択制をとって、それぞれに応じた発展的な学習内容からなる授業を实践することとしており、次のような生徒を求めている。</p> <p>中学時代特に優秀な学習成績を収め、特別活動にも熱心に取り組んだ者。さらに、本校入学後も強い学習意欲と探究心を持ち続け、将来国公立・私立の四年制大学をはじめとする上級学校への進学を目指す者。</p>	(同上)	(同上)	(同上)	(同上)	

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
78	福島県立相馬高等学校	全日制

Ⅱ期選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の 成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	面 接		
普通科	(120)	5教科とする。 各教科50点満点とし、学力 検査の満点を250点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点 とし、「特別活動等の記録」は55点満点 として、合計250点満点とする。	実施しない。	同等とする。	
理数科	(40)	5教科とする。 各教科50点満点とし、学力 検査の満点を250点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点 とし、「特別活動等の記録」は55点満点 として、合計250点満点とする。	実施しない。	同等とする。	

Ⅲ期選抜

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
普通科	「各教科の学習の記録」は 135点満点とし、「特別活動等 の記録」は32点満点として、 合計167点満点とする。	個人面接を実施する。 面接の内容は中学校における学習活動の成果を 問う内容（数学、英語）を含む。 面接については、点数化する。	小論文を実施する。 あるテーマに関する資料をもとにした600 字程度の小論文とする。 小論文については、点数化する。	
理数科	「各教科の学習の記録」は 135点満点とし、「特別活動等 の記録」は32点満点として、 合計167点満点とする。	個人面接を実施する。 面接の内容は中学校における学習活動の成果を 問う内容（数学、英語）を含む。 面接については、点数化する。	小論文を実施する。 あるテーマに関する資料をもとにした600 字程度の小論文とする。 小論文については、点数化する。	